

新しい大阪へ

さらば維新政治

橋下・維新統治下の7年半で、教育は最も攻撃対象にされ、そして「改革」にさらされ、今なお翻弄(ほんろう)されています。

橋下さん(大阪市長)の教育改革は、手当たり



大阪大学大学院教授 小野田正利さん

次第の「破壊のエクスタシー」だと思っていま
す。壊すことによる快感
が一貫してある。しか
し、壊したあとに責任は
取りません。

橋下さんの改革は、
人々の心のなかにある
「ねたみ」や「恨み」を
かきたたせ、目の前30秒
の人間をたたくことで留
飲を下げさせる効果をも
つものです。これはファ
シズムへとつながってい
て、とても危険だと思い
ます。

今年4月から教育委員
会制度が改悪され、自治

体の首長の権限が大幅に
強化されました。

教員の意欲心配

もう一つ、重要な政策
が進められています。公
立学校の民営化です。地
域の子どもたちが通い学
ぶ「みんなの学校」がな
くなっていく中で、公共
財産としての学校敷地等
を売り飛ばし、いかに安
上がりで効率の良い人材
を育成するかということが
関心を持つ政策になっ
ていく。これに大阪は真
っ先に手を上げました。

そんな中、何が起きた
この間、民間人校長に

か。教職員のモチベーシ
ョン(意欲)も質も低下
し始めているのではない
かと危惧しています。

大阪府下の自治体の教
育委員会に依頼されて講
演に向くと、関係者が
「教員の質が目に見えて
下がった」などと口々に
語ります。教職員の競争
率が下がれば、質の低下
が起る割合は高くなり
ます。実際に、大学生が
大阪の公立校への就職を
忌避して私学に行った
り、大阪出身者が他県に
就職し始めています。

この間、民間人校長に
も、小中学校は全国2

よる不祥事の数々と、現
役教頭の士気の低下が顕
著になりました。民間人
校長がいるから長年教頭
を務めていた人が校長に
なれず、モチベーション
が下がる。目標管理シス
テムが学校を席巻するな
ど、非常に息苦しい状況
が生まれています。

深刻な校内暴力

大阪には深刻な実態が
あります。校内での暴力
行為の発生件数は、全国
の中でも断トツの1位で
す。不登校児童・生徒数
も、小中学校は全国2

位、高校は1位です。こ
れをどういう形で改善し
ていくのか。教育で最も
重要なことは、子どもが
毎日、楽しく学校に来て
いるかどうかです。

今、日本全体が、「教育
改革病・教育改革依存
症」に陥っている危うさ
があります。そして声高
に「改革だけを叫ぶ政治
家」は責任を取らないの
が現状です。

4年前に成立した教育
基本条例などの廃止と、
見直しを含めた新しい条
例制定の必要性がありま
す。子どもや保護者、教
師にとって、学校を魅力

楽しく通える学校こそ

ある学ぶ場、信頼する
場、働ける場につくり替
えなければいけません。